

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2013年5月23日

No. 20

交渉打ち切り！ 労使協議軽視！

執行役員制度維持、取締役減は回答示さず！

【申第14号「本社体制の見直しに関する申し入れ」団体交渉報告】

昨日、15時より申第14号「本社体制の見直しに関する申し入れ」に基づく団体交渉を行いました。

中央本部は、会社の措かれている状況を認識しているのであれば、経営陣の覚悟を組合員に見える形で提示すべきである。その覚悟も見せず組合員にのみ犠牲を強いることは認められない。現行の執行役員制度を廃止し、取締役の人数を減らす具体策を示すことと怒りを込めて会社に迫りました。

この主張に対して会社は、執行役員制度を廃止する考えは一切考えていない。取締役を含めた役員の人数についても現在検討中であり、この場では回答できないと回答しました。

この不誠実な会社の回答に対して中央本部は、「会社の真摯な姿勢が全く見られない。労使協議に対して不誠実な対応をする以上、一切議論を進めるわけにいかない。再考を求める」と通告し交渉を打ち切りました。

今交渉で明らかになったことは、会社経営陣は、外部から指摘されても自らは汗をかかず、これまでの延長線上の考えであり、人件費削減で乗り切ろうとし、組合員の気持ちを全く無視した姿勢です。

中央本部は、組合員のみ犠牲を強いることは絶対に認めません。引き続き、姿勢を糾すため今後も勢力的に交渉を積み上げていきます。

以上